

平成21年(2009年)3月16日 (月曜日)

島の各地に残る痕跡

韓国・済州島の日本軍戦跡

平和の懸け橋

・・・上



韓国南部の風光明媚なリゾート地、済州島(シエジウド)。海外観光客のうち最多は日本人で、昨年(去年)は約十八万人が訪れた。八〇年代からはゴルフ、最近は一宮廷女官チヤングムの誓い「オーリン」「太玉四神記」など韓流ドラマのロケ地巡りが人気だ。

だが、九州の北西約三百キロのこの島が日中戦争の際には日本軍戦跡を目標として、約七万五千の兵力が集結したという。

争では本土防衛の拠点と位置付けられ、淡路島の三倍ほどの島の各地に地下壕(ごう)や飛行場など数多くの日本軍の軍事施設跡が残ることはあまり知られていない。大戦末期には人口約二十万の島に、約七万五千の兵力が集結したという。

この日本軍戦跡を目標として、平和の懸け橋、平和学

日本からの修学旅行促進へ

アルトゥル飛行場の格納庫跡。現在も19棟が原形をとどめる。韓国・済州島



習の教材ととらえ、韓国の若者との交流を組み入れた日本からの修学旅行を促進しようという草の根の動きが、日韓で出てきた。昨年十月には長野県立松代高の生徒約二百人が、日本からの初の修学旅行として三泊四日で済州島を訪れた。

済州島の日本軍戦跡には国が世界平和の島に指定したことで、タブー視されてきた過去の歴史の見直しが始まった。現在、済州島に残る日本軍戦跡は飛行場や飛行機格納庫、特攻兵器「回天」の基地とみられる人工洞窟(どうくつ)、高射砲陣地、地下壕などで、詳細な実態は分かっていないが数百に上るとみられている。米軍上陸に備え全島を要塞化する計画で、建設には多くの島民が強制的に動員させられたという。

済州島の日本軍戦跡には国が世界平和の島に指定したことで、タブー視されてきた過去の歴史の見直しが始まった。現在、済州島に残る日本軍戦跡は飛行場や飛行機格納庫、特攻兵器「回天」の基地とみられる人工洞窟(どうくつ)、高射砲陣地、地下壕などで、詳細な実態は分かっていないが数百に上るとみられている。米軍上陸に備え全島を要塞化する計画で、建設には多くの島民が強制的に動員させられたという。

長野県の松代大本営地下壕の研究と保存、公開に取り組み縁で済州島との交流のきっかけをつくった一人、元高校教師の板倉弘美さん(78)は、済州島の近現代史を知ってぜひ修学旅行を実現させたいと思ったと振り返る。松代高の修学旅行は戦跡地見学とともに現地高校生との交流も盛が担当します。

清流のシンボル・バイカモの保護を通じて韓国との交流があるNPO法

人クラウドワーク三島が平和学習を軸にした済州島への修学旅行誘致を支援することになり、同NPOメンバーとともに済州島を訪れた。現地の期待や同NPOの取り組みなどを紹介する。

(三島支局・川内十郎)

平成21年(2009年)3月17日 (火曜日)

資料展示や洞窟陣地復元

韓国・済州島の日本軍戦跡

平和の懸け橋

・ ・ 中

「戦争には勝者も敗者もない。みんなが被害者だ。悲惨な時代がまた来ないよう、日韓の若者が一つになって活動する必要がある」。済州島の平和博物館の李英根館長(五〇)は力を込めた。李館長の父・聖贊さん(八七)は日本軍の施設に二年半、強制的に従事させられたが、日本敗戦時、「軍人は命令で動いたのであり、個人に非はない」と軍服を脱がせて韓国の服を与えるなどして逃亡を助けたという。

その思いを受け継ぎ、運送業でたくわえた私財を投じて父が建設に加わった日本軍の指揮本部・

「伝えたい」強い意志貫く



「事実を正確に伝えたい」と力を込める李館長(中央)
 〓韓国・済州島の平和博物館

さん(七四)は、陣地構築の係は比較的良好だったと実際の落盤事故だけがをしい、「いじめられるよたり命を落としたりしたうなことは無かった」と島民が担架で運ばれた証言する。

昨年、平和博物館を訪り、集めた新で火葬された。父は飛れた二十五万人のうち、行場建設に従事させられ中高生は四百六十校、十万人を救えた。館内の一

室は、生徒らが平和へのメッセージを寄せ書きした大きな布が壁の一面を埋める。李館長は度々日本を訪れて教育関係者らの草の根交流を進め、済州島への修学旅行に理解を求めてきた。

そんな李館長が現在、力を入れているのが済州島の日本軍戦跡の世界文化遺産登録だ。これまでに十万人以上の署名を集め、「日本側の協力が不可欠」と強調する。さらに、「世界青少年平和財団」を立ち上げ、博物館の運営母体にしたという。これまで博物館に投じた資金は四十六億(約三億円)。陳情を重ねてもなかなか相手にしてくれなかった韓国の文化庁だったが、ここにきて初めて二億四千万(約千六百万円)の支援が決まった。

平成21年(2009年)3月18日 (水曜日)

NPOが体験型旅行誘致へ

韓国・濟州島の日本軍戦跡

平和の懸け橋

・・下

日本の高校の海外修学旅行実施状況は、二〇〇七年度が九百三十六校、約十五万人で訪問国の第一位は韓国(全国修学旅行研究協会調べ)。目的地の多くはソウル、慶州などという。

濟州特別自治道庁でNPO法人グラウンドフォー三島の渡辺豊博事務局長は「今、海外に行っている学校が濟州島に来るよう具体的にアプローチしたい。平和と自然環境を軸にした体験型旅行を各校にDMし、学

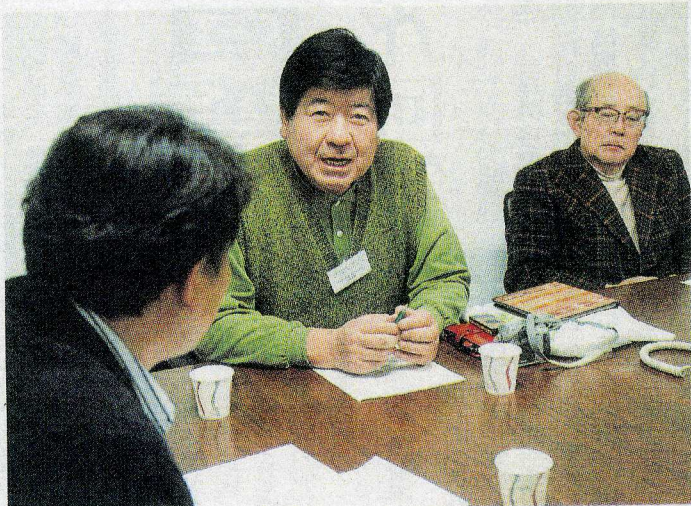
びの島としての濟州島のポテンシャルの高さを知ってもらおう。日本軍戦跡の世界文化遺産登録をめざし、日本でも署名

学びの場として高い可能性

本からの修学旅行誘致に前向きだ。

濟州島には戦跡以外にも、質の高い教材になり得る韓国唯一の世界自然遺産「濟州火山島と溶岩洞窟」がある。具体的には韓国最高峰の漢拏山

洞窟」がある。具体的には韓国最高峰の漢拏山



行政担当者に修学旅行誘致への具体的取り組みを語る渡辺事務局長(中央)と韓国・濟州特別自治道庁

（ハルラ山、標高一九五〇）城山日出峰、ソサンイルチュルボン、拒文岳(コムンオルム)溶岩洞窟系だ。フィールドワークによる青少年の環境学習で実績がある同NPOは、こ

さらに、六月開港の静岡空港発着のチャーター便による濟州島への修学旅行を県内の学校にアピールする方針。ミカンとお茶が特産品という類似点も好材料だ。

同NPOはこれまで「つなぎ役」として市民活動で成果を上げてきた。渡辺事務局長は「われわれはあくまでも市民団体。市民同士の手作りの交流を拡大する延長として修学旅行を増やしたい」と強調する。濟州島とのシニア層の交流が、修学旅行の事前学習のインストラクター養成にもつながると今後を見据えている。

Watching

ウォッチング

溶岩の洞窟

世界自然遺産である桓文岳(コムンオルム)溶岩洞窟系

の一つ、万丈窟。火山から噴出した溶岩が海岸線に達するまでの過程で形成されたと推定されている。



特攻兵器の格納庫
松岳山(ソングクサン)の人工洞窟。特攻兵器「回天」の格納用などに造られたとみられ、人工洞窟は済州島の海岸線のあちこちにある。この洞窟内ではドラマ「宮廷女官チヤングムの誓い」の最終回のロケが行われた。



王冠型の地形
世界自然遺産となっている城山日出峰(ソンスンイルチウルボン)の山頂付近。水深の浅い海での火山活動による王冠のような地形がそのまま残る。標高は1824m。

最も雄壮なこの口土地帯が人気で、昨年は日本から約1万5千の観光客が訪れ、日本書籍の存在をあまり知られていない。

九州の北九州三井物産の観光客を誘引する「回天」の格納庫。約1万5千の観光客が訪れ、日本書籍の存在をあまり知られていない。

この口土地帯は、本島防衛の拠点と位置付けられ、約1万5千の兵士が集結し、特攻兵器の格納庫として使われていた。



私財投じ平和訴え
平和博物館で説明する李英根館長(左)。平和の尊さを訴え続ける父の思いを受け継ぎ、李館長が私財を投じて2004年に開設した。日本軍の軍服や爆弾、刺身機「週報」をはじめとする刑行物などが展示されている。



戦跡たどる修学旅行を

韓国・済州島 二島のNPOが支援

韓国・済州島に数多くある日本軍の戦跡をめぐり、平和博物館、平和教育の拠点として、日本からの修学旅行を促進しようとする動きが、最近よく見られるようになった。

唯一の風景保護もあり、

時、建設は多くの農民強制的に動員せられたこと

同10はこれら組み合わせた。同館は本土からの修学旅行先として人気が高く、修学旅行団士の日韓交流も可能だ。

唯一の風景保護もあり、

同10はこれら組み合わせた。同館は本土からの修学旅行先として人気が高く、修学旅行団士の日韓交流も可能だ。

唯一の風景保護もあり、

同10はこれら組み合わせた。同館は本土からの修学旅行先として人気が高く、修学旅行団士の日韓交流も可能だ。

(三島局・川十郎)

指揮本部、入口

うち李館長が350ほどを復元した。会議室や医務室などが再現され、内に隣接し、指揮本部となっていた約2千の洞窟の跡が残る。

